

洗足学園音楽大学附属図書館

洗足こども短期大学附属図書館

2011 図書館便り

第二巻 第一号

発行日 2011年2月1日

電子書籍と図書館

目次:

電子書籍と図書館	1
私の推薦図書 荻原先生 小日向先生	2
私の推薦図書 大宅先生 曽我部先生	3
私の推薦図書 曾我部先生	4
私の推薦CD/DVD 曾我部先生	5
図書館からのお知らせ	6
図書館からのお知らせ	7
2010年度 図書館利用アンケート結果 -音楽学部-	8
2010年度 図書館利用アンケート結果 -短期大学-	9
図書館に対する投書 へのご回答	10

2010年は電子書籍元年と言われています。

グーテンベルクが1445年頃に印刷技術を発明して約565年で新しい技術が注目を浴びています。米国のAmazon社では既に81万冊以上の電子書籍が販売されています。また、2010年第4四半期には同社の電子書籍の販売数がペーパーバックを初めて上回ったことが発表されました。これまで、国内での電子書籍は、ケータイ小説やケータイコミックに代表される携帯電話向けが主でしたが、昨年からApple社のiPad、各社からスマートフォン、電子書籍リーダーと呼ばれる機器が次々に発売されています。さらに、大手出版社と携帯電話各社なども新しい電子書籍サービスを発表しています。残念ながら現在、これらのサービスで利用可能な点数は数万点と限られたものです。

皆さんご利用できる電子書籍は今後も急速に増えていくことが予想されます。しかし、各社毎に利用できる書籍・機器などの制限や違いがあるため、サービス内容や読みたい電子書籍の有無などを判断する「賢い消費者」になる必要があります。

ところで、図書館で話題の電子書籍は利用できるのでしょうか？ Google社の提供するGoogle Booksでは、ハーバード大学(100万冊)、オックスフォード大学(100万冊)、慶應義塾大学(12万冊)などの図書館と協力し、著作権保護期間の終了した数百万冊の図書の全文検索と閲覧が可能になるプロジェクトが進行中です。またハーバード大学Loeb Music Libraryでは、18世紀から19世紀初頭のJ.S.BachやMozart、Schubert等の作曲家の初版楽譜がDigital Scores and Libretti Collection

副館長 木曾正之

を通じて公開されています。

国内では、国立国会図書館の近代デジタルライブラリーで明治から昭和初期に刊行された約39万冊がデジタル画像として電子化されています。インターネットで公開されているのはその内の約17万冊です。残りの22万冊については、国会図書館内での館内利用のみになります。その理由は著作権法です。国内の著作権法による保護期間は著作権者の死後50年、欧米主要国では70年です。2011年1月から堺市立図書館でも約2,500冊で電子書籍の貸出が開始されました。ただし、当面はパソコンでの閲覧です。

国内の大学図書館ではどうでしょうか？

大学図書館の資料には、学術雑誌、学術書などがありますが目録だけでなく本文の閲覧も可能な日本語の学術書はまだほとんどありません。国立情報学研究所と国立大学図書館などをを中心に数校規模で実験がスタートしたばかりです。このように国内の図書館で電子書籍が本格的に利用できるのはかなり先になります。

本学図書館では電子書籍は利用できませんが、今号の図書館からのお知らせに掲載されているように、学術論文データベース“CiNii(サイニー)”の定額機関登録や書誌・目録データベースの“RILM”、“RISM”を導入しました。また、NAXOS ミュージック・ライブラリーを自宅パソコンから利用できるIDの配布も試行しています。今後も、電子媒体の資料についても、利用者の皆さんの利便性向上に役立てるよう努めています。

＜私の推薦図書＞ 【荻原 清次先生(管楽器コース:クラリネット)】

【図書】

書名 『演奏の原理』
著者 ハンス・ペーター・シュミット
監修 吉田 雅夫
訳者 井本 晃二／滝井 敏子
出版 シンフォニア(1977/2010)
ISBN 4-88395-137-C3073
定価 2,800円(消費税別途)
原書 『Singen und Spielen』 1958
Baerenreiter-Verlag
(図書館バーコード番号:J001892\$)

私が大学生の頃、出版されたばかりのこの本をむさぼるように読んだことを今でもはっきり覚えている。楽譜や音符を全く用いず「演奏の原理」を探る。目次は至って簡単「音の運動」「音の強弱」「音の長短」「音の高低」、そして「音色」である。これらの演奏におけるファクターを2つのグループに分け、「テンポ:速い～遅い」「音量:強い～弱い」「アーティキュレーション:長い～短い」「音程:高い～低い」「音色:暗い～明るい」これらの相関関係の中であるべき姿を見いだし、コントロールするための訓練方法を展開す

る……毎年1回はこの本をじっくり読み返し、新たな発見をするたびにこの本の素晴らしさを再認識していたが、誰かに貸したまま戻ってこず、かなり以前から我家の本棚には無い。この本は長い間絶版であったが、ひょんな事から2010年4月に再出版されているのを見つけ、久しぶりにこの本を手に取り30年前の自分に逢ったような気持ちで読んでいるところである。演奏家を目指す若者にこの本「演奏の原理」を読むことを勧める。

＜私の推薦図書＞ 【小日向 英俊先生(音楽学コース)】

【図書】

書名 『世界音楽への招待:
民族音楽学入門』
著者 枝植 元一
出版 音楽之友社
ISBN 9-78427-613-5303
(図書館バーコード番号:J0019590)

大学図書館には、音楽の「秘密」を解き明かすための道具がたくさん詰まっています。皆さんの音楽世界を広げるために、活用してみましょう。今回は、人間と音楽の関係を考えるときの羅針盤になる資料を1点紹介します。

枝植元一著『世界音楽への招待:民族音楽学入門』(東京、1991年) (分類記号: 760.138/Ts39/1、開架資料)です。これは、地球上の様々な音楽すべてを意味する「世界音楽」という言葉を、日本に紹介した本です。それ以前、音楽は西洋クラシック音楽、民族音楽、その他の音楽などと分

類されていました。この本では、ジャズ、ロック、ミュージカル、クラシック、日本伝統音楽も、世界の諸民族の様々な音楽も、人間の行う「音楽」ととらえ、それすべてを意味するためにこの言葉を紹介したわけです。

すべての音楽に独自の価値がある。皆さんのまだ知らない音楽の世界も、すべてが人類の音楽行為として考えるわけです。著者の語る世界音楽の様々な事例に触れ、皆さんの音楽の聴き方や演奏が変わるような「秘密」を手に入れてください。

＜私の推薦図書＞

【大宅 緒先生(音楽学コース)】

【楽譜】

楽譜名 Pictures at an exhibition

ムソルグ斯基《展覧会の絵》

ファクシミリ版

(図書館バーコード番号:M0224821)

ざっくりした手ざわりの、赤い布貼の薄いケース。作曲者ムソルグ斯基の名前は金箔押し、《展覧会の絵》という作品名と「ファクシミリ」の表示は銀箔押しである。これらの表記はロシア語・英語・ドイツ語の3カ国語による。1982年に旧ソ連の国営音楽出版社から刊行された、当時の豪華本である。

いまとなっては図書館でしかお目にかかることはないだろう。だがそれは《展覧会の

絵》という作品を知るうえで、もっとも基本的な資料といえる。禁帶出のため少々特別な手續が必要だが、だれもが見ることができ、洗足の図書館の貴重な財産である。

そのケースからおそるおそる中味をひきだしてみる。畳まれた白い表紙の内側に、3カ国語の解説書と、ムソルグ斯基が見たであろう、亡き友人ガルトマンの絵が6点。そしてファクシミリ版、つまりムソルグ斯基の手書きの楽譜を複写したものの綴りがある。表紙の書き込みには、「ヴィクトル・ガルトマンの思い出に」という言葉が含まれる。

ページをめぐると、ムソルグ斯基が整つ

た楽譜を書く作曲家であったことがわかる。ペンによる文字も美しい。だがその楽譜には、多くの生々しい修正の跡がある。たくさんの小節を消し、書き直し、書き込んだ言葉を削る。数段分の五線紙を貼ったところもある。切羽詰まった仕事であったことをうかがわせる。

《展覧会の絵》については、数々の校訂や編曲、さらに無数の演奏が生まれてきた。それらすべての原点に、このファクシミリ版が伝える、ムソルグ斯基の血と汗と涙がある。音楽の未来を担う人々に、楽譜を通じて語りかけることができるそのときを、書庫のムソルグ斯基はじっと待っているのだ。

＜私の推薦図書＞

【曾我部 清典先生(管楽器コース:トランペット)】

実際に読んだり聴いたりして欲しいので、比較的簡単に入手できるという条件で、次の3冊と2(+4)枚を選んだ。いずれも、amazon.co.jpで購入できる。DVDに関する推薦は、どういう環境で見るかにも影響されるので次の機会に譲るが、作曲家の伝記映画などは、本では読み難くても映像が伴うことで楽しく音楽史を学べるのではないか?と思う。エンタテイメント性を盛り込もうとするあまり、作り話や誇張された部分があるので、要注意。

【図書】 私から勧める“この一冊:Best1”
from 曾我部清典

書名 原初生命体としての人間—
野口体操の理論
著者 野口三千三
出版 岩波書店(岩波現代文庫)
ISBN9-78400-603-0803



私が芸大在学中、芸大の三大奇人と言えば、三木成夫先生と、松尾先生ご推薦の小泉文夫先生、この本の著者の野口三千三先生だった。芸大に入学できて「がんばろう!」と思っていた私たちに、「がんばってはダメだ、力抜いて、だらだらくにやくにややりなさい。」という教えは、強烈なカルチャーショックだった。50代を過ぎてから野口体操を再開したが、先生の考え方方は今の自分にぴったり来ている。野口体操のバイブルとも言える「原初生命体としての人間」、やや難解な語り口だが、ぜひ、手に取ってもらいたい。

＜私の推薦図書＞ 【曾我部 清典先生(管楽器コース:トランペット)】

【図書】 私から勧める“この一冊:Best2”

from 曾我部清典

書名 コーチング——言葉と信念の魔術
著者 落合博満
出版 ダイヤモンド社
ISBN 9-78447-872-0219／1,575円

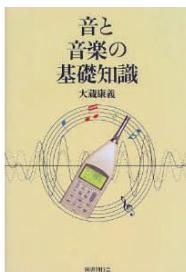


私はスポーツ選手を描いた文章が好きだ。中でもイチローに関する本は、随分読んだ。演奏家は一種のアスリートであるからだ。しかし、ここでは、教師の立場で推薦図書を選ぶことにした。それが、中日の落合監督が評論家時代に書いたこの本である。出版社からの紹介文にはこうある。「部下から質問されるまでは、じっと忍耐。部下自身が体でつかみ取るのを待つ。自分で考える事のできる人に育てる」。「部下」という文字を、「生徒」に置き換えてみると、大学でのレッスンの在り方にとても参考になると感じる。

【図書】 私から勧める“この一冊:Best3”

from 曾我部清典

書名 音と音楽の基礎知識
著者 大蔵康義
出版 国書刊行会
ISBN 9-78433-604-1227／2,310円
(図書館バーコード番号:J0076441)



最後に、音楽に関するちょっと難しい本も挙げておこう。自分が音楽について何かを書く時に、自分の言っていることが間違いないかのチェックに、必ずと言っていいほどぱらぱらとめぐる本である。そして、大蔵さんは、芸大のトランペットの先輩である。学生時代からいろいろなことを教えて頂いたが、プロの音楽家ならこの位のことは知っておかなくてはいけないよと言われている気分だ。「感性」という言葉で捉えられることが多い音楽だが、しかし近い将来、音楽の世界も幅広い人間科学としての知識が求められる時代が来る。今まで音楽家が余り重視してこなかつた音の物理や科学、音の心理などを中心に解説している。

＜私の推薦CD/DVD＞

【曾我部 清典先生(管楽器コース:トランペット)】

【CD】 私から勧める“この一枚:Best1”

from 曾我部清典

パリ音楽院管弦楽団(現パリ管弦楽団)

『ベルリオーズ／幻想交響曲』／

指揮:シャルル・ミュンシュ

東芝EMI

(図書館バーコード番号:A0000057M)

初めて自分のお金で買ったオーケストラのレコード！(CDではなく)が、この歴史的名盤だったというのは、私にとって何と幸運だったことだろう！ベルリオーズ／幻想交響曲、パリ音楽院管弦楽団(現パリ管弦楽団)／指揮:シャルル・ミュンシュ。すり切れほど毎日聴いていたのを思い出す。現パリ管弦楽団コンサートマスターの千々岩さんからの情報で、この演奏とドビュッシーの海を収録したCDが、タワーレコードの2010年のクラシック部門売り上げ第1位であること

を知った。これはもの凄いことである！1967年の録音、この録音に参加した最後のメンバーが、今年の夏パリ間を退職したという話も伺った。長い演奏家生活の中で一番心に残る指揮者は？の問い合わせに「シャルル・ミュンシュ」とお答えになったそうだ。私はノスタルジーから、このCDではなく、当時と同じジャケットデザインのこちらのCDを購入したが、同じ録音なので、どちらか聴いてみて欲しい。これこそ、フランス！

【CD】 私から勧める“この一枚:Best2”

from 曾我部清典

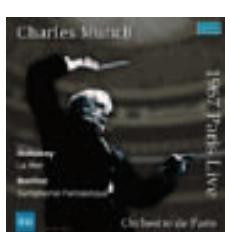
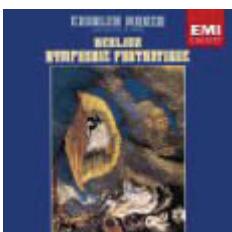
松平敬『MONO=POLI(モノポリ)』

株式会社オフィスENZO

(図書館バーコード番号:A0599370)



松平君は、私とは同郷で、しかも、双子座三重奏団という現代アンサンブルで度々一緒に演奏をする仲間であるが、いつもその能力の高さに驚かされている。その彼が多重録音を使って古今(14世紀:マショーラから20世紀:ケージ/リゲティ)の合唱曲(しかもバスからソプラノまで)を歌い上げたCDが、今年リリースされ、文化庁が選ぶ平成22年度(第65回)文化庁芸術祭賞レコード部門優秀賞に選ばれた。<http://www.bunka.go.jp/ima/press_release/pdf/22_geijutsusai.pdf> こちらも歴史的名盤になるかもしれない。歌い手ならずとも、ぜひ一度聴いて頂きたい1枚である。



Berlioz: Symphonie Fantastique Op. 14; Debussy: La Mer /
Charles Munch, Orchestre de Paris
Charles Munch , Orchestre de Paris

恐縮ながら、拙作CD4枚

「今までそして明日から....」「透明な孤独」「トキノコダマ」「トキノコダマ2」を、図書館に寄付させて頂いており、誰でも借りて聴く事ができる。購入せずとも良いので、一聴をお願いしたい。[Amazonへのリンク](#)



今まで、そして明日から
曾我部清典
(図書館バーコード番号:
A053867\$)



トキノコダマ(世紀の斜)
曾我部清典
(図書館バーコード番号:
A053868/)



透明な孤独 -
曾我部清典 トランペットソロ
(図書館バーコード番号:
A053866)



トキノコダマ2 (世紀の斜)
曾我部清典/中川俊郎
(図書館バーコード番号:
A053865.)

【図書館からのお知らせ】

① 国立情報学研究所の学術論文データベース“CiNii(サイニー)”の定額制機関へ

2010年12月より、国立情報学研究所が運営している学術論文データベースである“CiNii(サイニー)”の定額制機関となりました。これにより、有料公開の論文が無料、もしくは優待料金で閲覧が可能となりました。

CiNiiはわが国最大の学術論文データベースで、約1,200万本の論文の検索及び320万本の論文閲覧が可能です。図書館内のインターネットより利用が可能です。

[CiNii へはこちらから](#)

② EBSCO社の音楽情報データベース、“RILM”、“RISM”を導入(2011年1月末～)

音楽関連書籍、楽譜のデータベースである、EBSCO社の“RILM”及び“RISM”を、2011年1月24日から導入しました。RILMは世界中の音楽関連の図書、雑誌等の目録、抄録、著者情報、インデックスを収録しており、データは1967年以降の53万件が利用可能で、毎月最新情報に更新されます。

RISMは、1600年以降の音楽楽譜、理論書の目録データベースで、世界中の主な作曲家による56万件以上の楽譜の情報が収録されております。

RILM、RISMともに図書館内のインターネットより利用が可能です。

[RILM/RISM へはこちらから](#)

【図書館からのお知らせ】続き

③ “Finale”搭載のパソコンを 5台増設(2011年3月～)

図書館1階のWindowsパソコンのうち、楽譜制作ソフト“Finale”を搭載のものを5台増設します。これにより、Finale搭載のPCは合計で10台となります。

④ 貸出中の図書が予約可能に (2010年11月～)

2010年11月より、貸出中の図書について取り置きの予約が可能となりました。

OPAC検索時に“貸出中”となっている図書をできるだけ早く閲覧したい場合は、カウンターまで申し出ていただくと、返却時に取り置きのうえ、ご連絡します。

なお、取り置きの期間は最大1週間です。

⑤ 利用者用パソコンの更新

パソコン10台をWindows 7に更新します。利用方法は従来と同じです。

図書館利用者アンケート集計結果 ご協力ありがとうございました。

音大(回収サンプル数 730)

問1.

	ほぼ毎日	週に3回程度、4度	週に1度回	ほとんど利用
図書館をどの程度利用していますか。	12.2%	34.4%	38.1%	15.4%

	良くなった	ややなつた	普通	やや悪くなつた	悪くなつた
A. CDの貸出枚数を1枚から3枚	61.5%	17.5%	19.5%	0.6%	0.9%
B. 図書の貸出冊数を3冊から5冊	54.8%	18.1%	26.5%	0.6%	
C. 2F開架に音楽洋書・和書等を配置	37.8%	18.0%	43.1%	0.8%	0.3%
D. 2F閲覧席横に参考図書(辞典等)を配置	37.1%	20.5%	42.0%	0.3%	
E. 1Fにパソコン8台を増設	55.6%	21.2%	22.3%	0.6%	0.2%
F. フルーレイディスク・プレイヤーを4台導入	50.9%	22.3%	26.1%	0.3%	0.5%
G. 閉架資料の受付をB1Fから1Fへと変更	40.7%	18.2%	32.1%	3.3%	5.7%

問3

	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満
A. 図書の所蔵状況、種類	11.6%	22.3%	36.2%	21.1%	8.8%
B. CDの所蔵状況、種類	8.5%	20.3%	28.0%	29.0%	14.2%
C. 楽譜の所蔵状況、種類	10.0%	20.0%	37.0%	21.3%	11.7%
D. 図書の貸出条件	22.6%	21.3%	43.9%	7.6%	4.6%
E. CDの貸出条件	10.2%	11.2%	22.0%	25.2%	31.3%
F. 楽譜の貸出条件	10.6%	11.2%	34.3%	25.1%	18.8%
G. パソコンの台数(Windows)	22.8%	21.5%	43.9%	7.0%	3.9%
H. パソコンの台数(Mac)	21.3%	19.8%	45.0%	8.5%	5.4%
I. 学習用閲覧席の数	19.9%	18.0%	45.3%	12.0%	4.9%
J. オーディオルームの数、貸出条件	12.3%	12.3%	43.3%	15.5%	16.6%
K. 学生リクエスト制度	15.3%	14.2%	54.3%	10.6%	5.5%
L. 貸出・返却等の事務手続き	19.4%	17.0%	44.2%	11.4%	8.0%
M. 質問等に対するスタッフの対応	19.3%	16.6%	47.4%	10.3%	6.5%
N. 開館時間	11.1%	10.6%	26.1%	23.9%	28.4%
O. 全体的な雰囲気	21.0%	20.7%	48.7%	7.4%	2.2%

問4. (1)

	二応えている	まあ応えている	どちらともいえない	あまりえていない	応えていない
以前に比べ、図書館は利用者のニーズに応えている	9.0%	42.2%	30.0%	10.8%	8.0%

問4. (2)

がカ 良ウ イナ タ ー受 付 方 式	カど ウち らか ーと い付 ば 式	ど ち ら と も い え な い	セ ど ル ち ら 方 式 と い え ば	良 セ ル 方 式 の 方 が
--	--------------------------------------	---	---	--------------------------------------

カウンター受付方式、セルフ方式、どちらが良いか

	良くなつた	やや良くなつた	どちらともいえない	やや悪くなつた	悪くなつた
問4. (3)					

全体的に図書館は、昨年度以前と比較してどうか

10.9%	21.8%	46.3%	11.7%	9.2%
-------	-------	-------	-------	------

短大(回収サンプル数 537枚)

問1.	ほぼ 利用 する 毎日 する	週 程に 度3 利 用4 回	週 に1 回程度	ほと んど ない
図書館をどの程度利用していますか。	1.0%	4.0%	23.7%	71.3%

	良くなつた	やや良くなつた	普通	やや悪くなつた	悪くなつた
A. CDの貸出を1枚から3枚	42.3%	12.2%	44.4%	1.0%	
B. 図書の貸出を3冊から5冊	44.4%	12.8%	42.3%	0.5%	
C. 2F開架に音楽洋書・和書等を配置	35.7%	12.8%	50.5%	1.0%	
D. 2F閲覧席横に、参考図書を配置	35.9%	12.8%	50.8%	0.5%	
E. 1Fにパソコン8台増設	53.4%	17.1%	29.5%		
F. フルーレイディスク・プレイヤーを4台導入	51.5%	17.0%	30.4%	1.0%	
G. 開架資料の受付をB1Fから1Fへと変更	42.8%	11.3%	45.4%		

問3	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満
A. 図書の所蔵状況、種類	22.1%	21.0%	48.2%	5.6%	3.1%
B. CDの所蔵状況、種類	21.1%	20.1%	50.5%	6.7%	1.5%
C. 楽譜の所蔵状況、種類	26.7%	20.0%	47.2%	4.6%	1.5%
D. 図書の貸出条件	32.8%	15.4%	48.2%	3.1%	0.5%
E. CDの貸出条件	20.5%	13.3%	46.2%	11.3%	8.7%
F. 楽譜の貸出条件	22.2%	12.4%	53.1%	6.2%	6.2%
G. パソコンの台数(Windows)	34.5%	18.0%	42.8%	3.1%	1.5%
H. パソコンの台数(Mac)	33.8%	16.4%	46.7%	2.1%	1.0%
I. 学習用閲覧席の数	32.3%	16.9%	41.0%	8.7%	1.0%
J. オーティオルームの室数、貸出条件	26.2%	16.4%	36.9%	6.7%	13.8%
K. 学生リクエスト制度	25.3%	12.4%	58.8%	2.1%	1.5%
L. 貸出・返却等の事務手続き	26.3%	13.9%	51.5%	4.6%	3.6%
M. 質問等に対するスタッフ対応	24.1%	13.3%	51.8%	5.1%	5.6%
N. 開館時間	22.3%	11.9%	45.1%	12.4%	8.3%
O. 全体的な雰囲気	28.9%	21.6%	44.8%	3.6%	1.0%

問4(1)	ニーズに 応えて いる	まあ応え てある	どちらとも いえないも の	あまり応え てない	応えてい ない
-------	-------------------	-------------	---------------------	--------------	------------

以前に比べ、図書館は利用者のニーズに応えているか	22.1%	40.9%	29.2%	3.2%	23.4%
問4(2)	カ ウ のン	ど か う	ど ち う	ど せ る	セ ル フ

カウンター受付方式、セルフ方式、どちらが良いか	33.1%	13.9%	29.1%	10.6%	13.2%
-------------------------	-------	-------	-------	-------	-------

間4(3)	良くなつた	やや良くなつた	どちらともいえない	やや悪くなつた	悪くなつた
-------	-------	---------	-----------	---------	-------

合併的に同書類は、改年度以前と比較してどうか

【図書館に対する投書へのご回答】

2010年9月～12月にいただいた投書に対する回答です。

今後ともご意見、ご要望がございましたら、お寄せ下さい。

<ご意見・ご要望>

借りるCDの枚数を1枚でも増やして欲しいです。あと、土曜日は授業がないので、金曜日に借りたものは月曜日に返すように、変えてほしいです。宜しくお願いします。
(他に、CD、DVDの具体的なリクエストあり)

<ご回答>

CDについては、2010年9月1日より、1回につき3枚が貸出可能となりました。(9月以前は1枚でした)念のためお知らせします。

また、リクエストをしたい場合は、お手数ですが図書館内の学生リクエスト専用パソコンにて申請をお願いします。学生リクエストは1回につき5点まで、1年に通算で30点まで可能です。

最後に、金曜日に借りたもの(CD?)を月曜日に返却、という点については、現在のルールではできませんが、10月に実施したアンケートにおいても同様の要望が多数ありましたので、今後、図書館委員会にて対応を検討したいと考えております。

<ご意見・ご要望>

Finaleが使えるパソコンが5台しかないので、もう少し増やしてほしい。(最低でも10台はほしいです)
リクエストの上限を増やしてほしい。

<ご回答>

Finaleが使えるパソコンが少ない、というご意見は、上記同様、10月に実施したアンケートにも散見されましたので、2010年度中に5台増設し、合計で10台と致します。

また、学生リクエストについては、現状では認知度が低く、まだ利用者数が少ない状況です。今後、本制度を周知の上、利用者数の増加状況を見極めながら、条件の見直しに着手したいと考えています。

発行： 洗足学園音楽大学附属図書館
洗足こども短期大学附属図書館
発行日：2011年2月1日